

# 公益社団法人日本技術士会 CPD行事 実施報告書

開始日時	平成27年8月21日(土)	14時00分
終了日時	平成27年8月21日(土)	16時00分
名称	第26回CPD見学会	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	キッコーマン食品野田工場内(野田市野田 110)	
行事内容	(1)「もの知りしょうゆ館」および「御用蔵」(御用醤油醸造所)の見学 (キッコーマン食品野田工場内) (2)野田市郷土博物館の見学 (キッコーマン食品野田工場から徒歩約8分)	
参加人数	32名(内企業1名)	

第26回CPD見学会は、野田で江戸時代中期から本格的な醤油製造が始まり、今では世界各地で食品調味料として活用されている“しょうゆ”製造技術の変遷・文化的背景を探る見学会を実施した。今回見学したいくつかの施設で、“しょうゆ”製造の原点から現在の高品質・大量生産にいたる“しょうゆ”製造を支える技術・工程などの変遷およびそれらに関わる文化的背景を再認識できた。

女性ガイドによる見学ツアーで、見学コースは基本的に建物内のガラス越しで工場施設が見学でき、ていねいで見やすい説明板が設置されている。しょうゆの製造工程を映像や展示で見る事ができた。もろみの熟成の様子やしょうゆの色・味・香りを体験できた。見学の最後には、1人1本の醤油小瓶を頂いた。

御用醤油醸造所(通称「御用蔵」)は、2011年(平成23年)に野田工場内に移築されたものらしい。しょうゆを仕込む木桶、屋根の小屋組み、屋根瓦、石垣、門などは移築前のものを使用し、原形に近い形で再現されている。御用蔵では、現在も宮内庁にお納めするしょうゆを醸造している。また、伝統的なしょうゆ醸造技術や御用蔵の建設当時の道具や装置が保存・展示されていた。見学施設移動のときに思わぬにわか雨に出会った。

御用蔵に引き続き野田市郷土博物館と野田市民会館(旧茂木佐邸)も見学は地元のボランティアの方3名に案内していただいた。野田市の歴史と文化に触れることができた。

